



大阪科学・大学記者クラブ 各位

2018年5月16日
大阪市立大学

全国同時七夕講演会2018 「重力波で探る宇宙」を開催します

大阪市立大学は、大阪市立科学館、(公財)大阪科学振興協会、日本天文学会と共同で、2018年7月8日(日)に、大阪市立科学館において全国同時七夕講演会「重力波で探る宇宙」を開催します。

ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡で天体観測を行った1609年から400周年を記念して、2009年に定められた「世界天文年」。この年から日本中の人々に天文学と宇宙への関心を持ってもらうことを目的として始まった「全国同時七夕講演会」も、今年で10回目の開催となります。

今回は、本学理学研究科の伊藤 洋介(いとう ようすけ)准教授が「重力波で探る宇宙」と題し、アインシュタインが予言した重力波について、一般の方にも分かりやすく解説します。つきましては、広くご周知いただくとともに、取材をご検討いただきますようどうぞよろしくお願いたします。



講演会の様子

- 1 日 時 2018年7月8日(日) 14:00~16:00 (13:30開場)
- 2 場 所 大阪市立科学館 研修室 (〒530-0005 大阪市北区中之島 4-2-1)

<http://www.sci-museum.jp/info/access/>

- 3 講 師 伊藤 洋介(いとう ようすけ) (大阪市立大学理学研究科 准教授)
- 4 講演内容 「重力波で探る宇宙」

2017年のノーベル物理学賞は、アインシュタインが100年前に予言した重力波を直接捉えることに多大な貢献をした、アメリカの3人の科学者に贈られました。この重力波信号は、2つのブラックホールが合体して1つになるという、とてつもない天体現象から来ていると考えられています。でも見えないはずのブラックホールについて、なぜそんなことがわかるのでしょうか？ また、日本のKAGRAも含めた世界の重力波望遠鏡によって、我々の宇宙について今後どのようなことがわかると期待されているのでしょうか？わかりやすく解説します。



- 5 対 象 内容は中学生以上の方向けですが、どなたでもご参加いただけます。
- 6 定 員 80名(当日先着順・申し込み不要)
- 7 費 用 無 料
- 8 主 催 大阪市立大学、大阪市立科学館、(公財)大阪科学振興協会、日本天文学会
- 9 共 催 (一社)日本天文教育普及研究会
- 10 後 援 日本学術会議
- 11 講演会の内容に関する問い合わせ先

大阪市立大学大学院理学研究科 物理学教室

TEL/FAX: 06-6605-2636

<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata18/>

【講演内容に関する問い合わせ先】
理学研究科 物理学教室 教授:石原秀樹
TEL: 06-6605-2636
Mail: ishihara@sci.osaka-cu.ac.jp

【取材に関する問い合わせ先】
法人運営本部 広報室 担当:奥
TEL: 06-6605-3411
Mail: t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp